

タスクレベル・スキルレベルの説明

タスクと研修・書籍、資格の連係情報

研修・書籍、資格を提供する事業者により、研修・書籍を通じて習得する内容（到達目標）、資格の合格基準を「タスク評価の診断基準例」（下記）に照らし合わせて該当するタスクレベルとして設定しています。

スキルと研修・書籍、資格の連係情報

同様に、「スキル熟達度判定基準」（下記）に照らし合わせてスキルレベルを設定しています。

研修・書籍、資格のタスクレベル設定基準 （タスク評価の診断基準例）

タスクレベル	診断基準
レベル4	他者を指導できる、またはその経験あり
レベル3+	レベル3とレベル4の間に相当
レベル3	独力で実施できる、またはその経験あり
レベル2+	レベル2とレベル3の間に相当
レベル2	サポートがあれば実施できる、またはその経験あり
レベル1+	レベル1とレベル2の間に相当
レベル1	トレーニングを受けた程度の知識あり

研修・書籍、資格のスキルレベル設定基準 （スキル熟達度判定基準）

カテゴリ スキルレベル	診断基準		
	テクノロジー	メソドロジ	関連知識
レベル4	非機能要件を考慮して最適化できる、最適解が出せる／定石外しができる／高度情報処理試験に合格するレベル	最適な手法を使いこなす／最適な手法を選択できる／手法を状況に応じて自在に駆使できる	関与する業種・業務の上級管理者に対しあるべき姿について議論できる
レベル3+	レベル3とレベル4の間に相当		
レベル3	機能要件が作成できる／自立してある限定条件で仕事ができる	課題に応じて手法の使い分けができる／現場にて手法を活用し結論を導いた事がある	関与する業種・業務のIT領域の課題点に対し解決策を提案した事がある
レベル2+	レベル2とレベル3の間に相当		
レベル2	指示があると使える、活用できる／実装経験がある	当該手法で分析できる／メソドロジを指導下で使える	関与する業種・業務のIT領域の課題点を知っている
レベル1+	レベル1とレベル2の間に相当		
レベル1	技術内容について講義などを受講し知っている／知識がある	手法内容について講義などを受講し知っている／どんなものか知っている、言える／テキストで知っている	関与する業種・業務がどんなものか知っている、言える／有報などの公開情報で知っている